

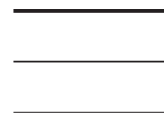
● 基礎製図

1 線（種類・太さ）

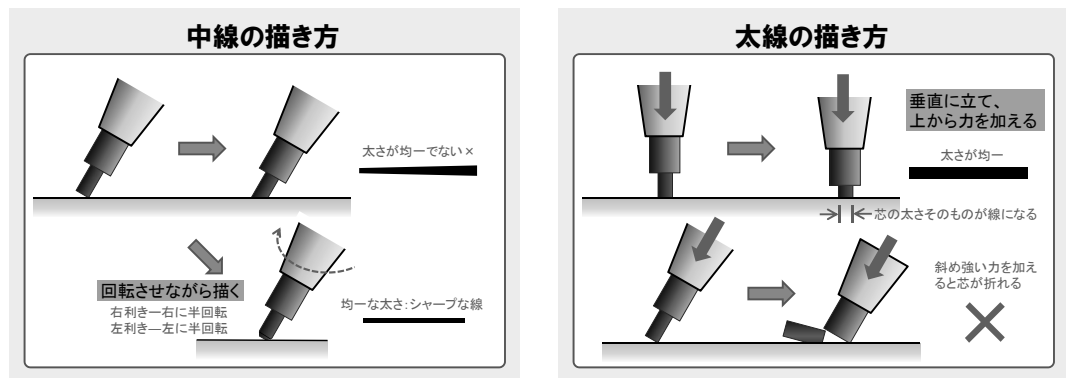
作図上の線の太さの規定はとくにないが、めりはりのある、審査員にアピールできる図面を描くために、線の濃さ・太さを使い分ける必要がある。

〔作図上の主要な線〕

- ①実線（**太線**）：断面線、ガラスの線、G L 線
- ②実線（**中線**）：寸法線、外形線、引き出し線、家具・設備機器等
- ③**仮線**：壁の中心線などがわかるように、細く薄く記入する線

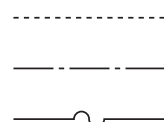


- ポイント**
- ①**仮線**⇒シャープペンシルの少し上の方を軽く持ち、力を入れずシャープペンシルの重さだけで、素早く線を引く。
 - ②**中線**⇒シャープペンシルをしっかり持ち、斜めに傾け、やや速くしっかり線を引く。手首は動かさずに肘で線を引く。シャープペンシルを半回転ほど回しながら引く。
 - ③**太線**⇒シャープペンシルをしっかり持ち、直角に立て力強くゆっくりと線を引く。手首は動かさずに肘で線を引く。シャープペンシルは回さない。



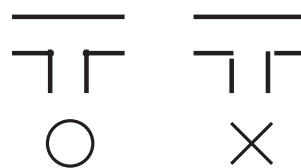
〔その他の線〕

- ④**点線・破線**：隠れ線、地下部分の表示、上部吹抜又はトップライトなどの表示
- ⑤**一点鎖線**：中心線、隣地境界線（太く）、防火シャッターなど
- ⑥**破断線**：部分切断位置（平面図の階段の省略線）



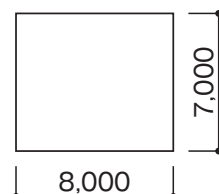
2 線の描き方

- ①実線：線の太さが均一であること
- ②線の交わり：線がきちんと交わっている
- ③点線・破線：線と線の空きが均一である
- ④一点鎖線：点と線の空きが揃っている



3 寸法線・寸法の数値の記入

- ①寸法線は、面積計算できるように最低2方向（X Y方向）に記入する。
- ②寸法の表示単位は、原則mm単位とし、単位記号は付けない。
- ③寸法線の端には玉止め（黒丸）、矢印、斜線をつける。
- ④寸法の記入方法は、寸法補助線を引き出して寸法線を入れ、寸法線に沿って図面の下又は右から読めるように、寸法線の上に横書きとする。

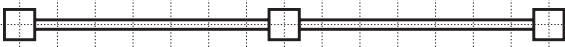
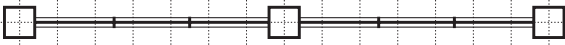
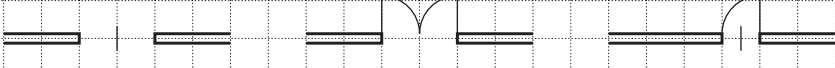
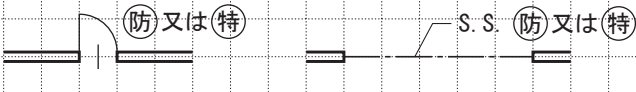
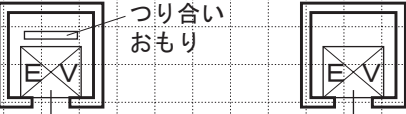
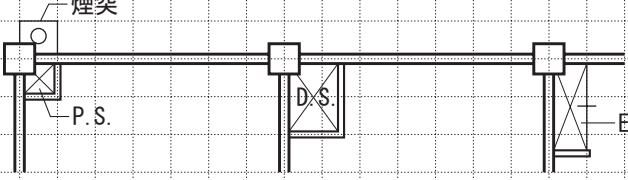


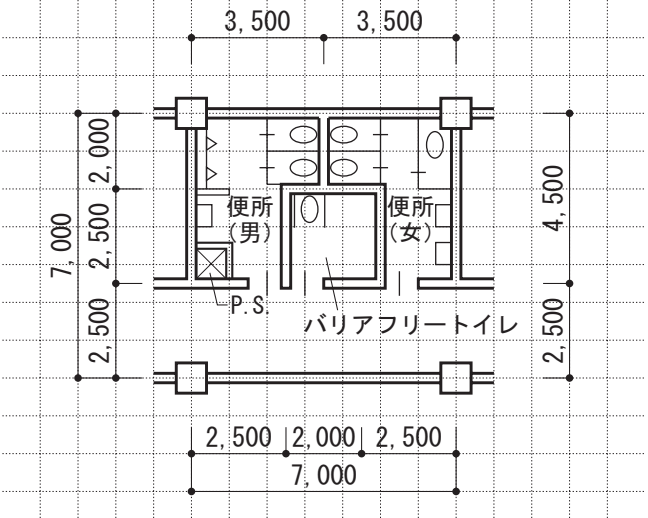
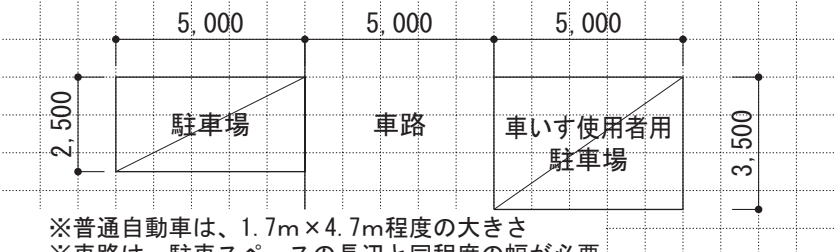
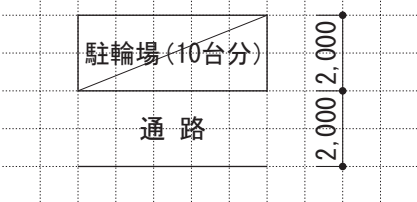
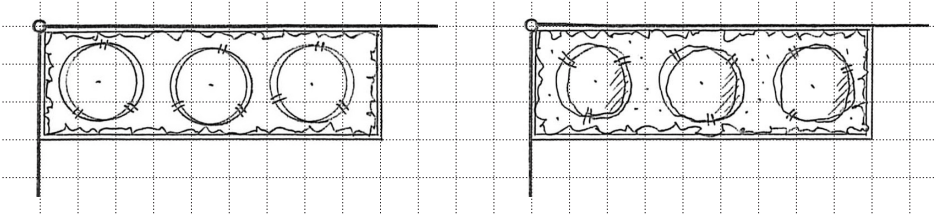
4 文字

- ①高さは、室名等は約4mm、什器、補足事項、寸法等は約3mmとし、高さ・大きさを揃える。
- ②横方向の文字は水平に、縦方向の文字は角度を揃えて書く。

大文字 (約4mm。室名等)	居室 事務室 倉庫 エントランスホール
小文字 (約3mm。什器、寸法、補足事項等)	受付カウンター 歩行距離 重複距離 7000 6000 3000 2000

5 平面図の表現

項 目	表 現	(S=1/200)
柱・壁	 ※壁厚は心々1.2mmで、均一に描けるようにする。 ※柱は3.5mmまたは4mm角のテンプレートを使う。	
窓一般	 ※ガラスは太線、窓枠は中線。	
出入口一般 両開き戸 片開き戸	 出入口一般 両開き戸 片開き戸	
防火戸、 防火シャッター	 防火戸 S.S. 防火又は特 (スチールシャッター)	
スロープ	 スロープ 車いす用 : 1/12以下 : 1/15以下	
エレベーター	 つり合い おもり ロープ式 油圧式 ※つり合いおもりは 描かなくてもよい	
煙突、 設備シャフト	 煙突 P.S. D.S. E.P.S. ※RCの壁と包絡 させず、壁厚は 少しうすく描け ばよい(軽量鉄 骨等と考える)	

項 目	表 現 (S=1/200)
便所 (便器、洗面 台など)	 ※バリアフリートイレは、心々2.5m×2.5m以上を確保することが望ましい
駐車スペース	 ※普通自動車は、1.7m×4.7m程度の大きさ ※車路は、駐車スペースの長辺と同程度の幅が必要
駐輪スペース	 ※1台分は、0.5m×2m程度の大きさ
樹木、植栽	

※段数の値は記入しなくてよい

項 目	表 現	(S = 1/200)
利用者 用階段 (※)	●長さ7m (階高4m) [幅員1,400mm以上、けあげ160mm以下、踏面300mm以上。 4,000mm / 160mm = 25段以上必要。図は26段の例。] 避難階は外開き 1階 (地階なし) 中間階 下階より 上階へ 避難階以外は内開き 最上階 (3500以上) 4,000 2,000 1,500 1,500 5分割 300 2,000 1,700 3,600 7,000	
	●長さ6m (階高4m) [幅員1,400mm以上、けあげ160mm以下、踏面300mm以上。 4,000mm / 160mm = 25段以上必要。図は26段の例。] 1階 (地階なし) 中間階 下階より 上階へ 最上階 4,000 2,000 2,000 300 300 1,500 1,500 1,500 5分割 300 1,500 1,500 1,800 2,700 6,000	
管理用 階段 (※)	●長さ5m (階高4m) [幅員1,200mm以上、けあげ200mm以下、踏面240mm以上。 4,000mm / 200mm = 20段以上必要。] 地階より 2階へ (地階あり) 1階 (地階なし) 中間階 下階より 上階へ 最上階 3,000 下階より 1,500 2,250 1,250 5,000 1,500 1,000 1,000 1,500 4分割 250 250 4分割 屋上へ	
(※) 利用者用はバリアフリー法の円滑化誘導基準に基づいた階段、管理用は基準法に対応した階段である。		